

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス柳町教室					
○保護者評価実施期間	令和7年	2月	1日	～ 令和8年	1月	30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	12		
○従業者評価実施期間	令和7年	2月	1日	～ 令和8年	1月	30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6		
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年	2月	16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画について、アセスメントに基づいた支援が一貫して行われている。 子どもの特性・家庭状況を丁寧に把握し、計画と支援内容の連動性が明確。	視覚支援や構造化を取り入れ、子どもが見通しを持ちやすい環境づくりを心掛けている。	外部専門機関（医療・保育所・学校等）との連携強化により支援の向上を図る。
2	保護者との連携を大切に、相談できる環境が整っている。送迎時の声かけ、定期面談、連絡帳などを通じて信頼関係が構築されている。	活動内容を個々の発達段階に合わせて調整し、成功体験を積みやすい運動プログラムを実施している。	こどもプラスでは毎月運動療育と職員のスキルアップのためのオンライン研修があり、積極的に参加する。
3	職員間の情報共有が円滑で、チームとして支援の質を維持できている。 ミーティングや記録の統一により、支援のばらつきが少ない。	保護者向けに月の様子や通信を定期的に発信している。	記録効率化や支援内容の可視化。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	運動療育を実施する上で、少し活動スペースが狭いと思われる。	良い物件があれば、移転も視野に考えている。	構造を変えることは出来ないが、運動療育の際は、物の移動を工夫しながら安全対策する。
2	繁忙期に記録や振り返りの時間が十分に確保できない。	支援の質を維持しながら、効率的に業務を進めるための仕組みづくりが必要。	業務フローの見直しと、記録・会議の効率化による職員負担の軽減。
3	地域の資源を活用した活動や、地域住民との繋がりを強化する余地があり、社会ネットワークの構築を検討しています。	地域住民や企業との協力体制を確立し、資源を効果的に活用できる仕組みづくりを課題としています。	地域ボランティア活動を検討し、持続可能な協力を構築します。